



うちのイチ押し!

オンラインで楽しむミュージアム

大阪市立科学館



サイエンスショーを おうちでも楽しもう!



大阪市立科学館の展示場3階の「サイエンスショー」では、学芸スタッフが物理学や化学の実験をライブで演示していますが、同館の公式YouTubeチャンネルでは、過去のサイエンスショーを視聴することができます。

その中でこの時期にお薦めなのが「マイナス196℃の世界」。マイナス196℃の液体窒素につけると、花や風船はどうなってしまうでしょう?液体窒素を使ったさまざまな実験を見て、暑い夏を涼しく過ごしてみませんか。



サイエンスショー「マイナス196℃の世界」



いろんなテーマの実験が見られます!

住所 〒530-0005 北区中之島4-2-1
電話 6444-5656 FAX 6444-5657
HP <https://www.sci-museum.jp/>

大阪歴史博物館



博物館の展示のディテールや おすすめスポットを紹介する 「しげしげレキハク」シリーズが登場

大阪歴史博物館の公式YouTubeチャンネルは、学芸員による展示解説や博物館を楽しめる映像など、さまざまな動画を公開し「都市おおさかの歩み」をお伝えしています。

今回は、博物館を「しげしげ」と見てまわり、ちょっとした「気づき」をお届けする「しげしげレキハク」シリーズをご紹介します。博物館の展示のディテールやおすすめスポットを約1分間のショート動画で撮影しました。来館前の予習にぜひご活用ください。



館内をしげしげと見てまわります



意外なところに意外な発見があるかも?

住所 〒540-0008 中央区大手前4丁目1-32
電話 6946-5728 FAX 6946-2662
HP <https://www.osakamushis.jp/>



おおさか

歴史探訪

181

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

萩之橋と人々の生活を支えた水路跡

今回は北区中津のお話です。Osaka Metro御堂筋線の中津駅を出て西へ少し歩くと、道路際に「元萩之橋」と刻まれた石碑が立っているのをご存知でしょうか。

埋め立てられて今ではすっかりわからなくなっていますが、ここにはかつてこの地域の重要な水路が通っており、そこに架けられていたのが「萩之橋」です。水路はこの場所では東西方向に流れており、北を向いて橋を渡るとそこは、西宮へ向かう中国街道と能勢街道の分岐点にあたります。橋の名称は、大正3(1914)年以前に橋の側にあった萩の名所で「萩の寺」と呼ばれた東光院に由来するようです。

萩之橋や水路は、文化3(1806)年の「増修改正摂州大阪地図」に描かれています。この絵図を見ると、現在の北区本庄から福島区野田にかけて水路網が整備されていたようですがよくわかります。安永3(1774)年の史料には、幹線と支線合わせて6線の水路があったことが記されています。萩之橋が架けられていたのはこのうちの1線ではないかと推測されます。これら水路網の整備時期は正確にはわかりませんが、元禄11(1698)～宝永4(1707)年までの間とみられる史料が最も古いとされることから、これ以前にさかのぼりそうです。これらの水路は、水田や畠を潤す用水路として、また淀川三角州の低湿な環境であったことから不要な水を排出する排水路としての機能も担っていました。このほか、農産物などを田舟に載せて運ぶ水運ルートとしても利用されるなど、この地域の人々の生活には欠かせない重要な役割を果たしていました。

中津や梅田周辺から福島区にかけての地域は都市化が進み、一見すると近世以前の農村地帯であった頃の面影を残していないように見えますが、周辺の街区に不整合な直線道など、探してみると水路の跡はあちこちに残っています。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



「元萩之橋」と刻まれた石碑(北区中津1丁目)